

記入例 妻から夫に対して離婚の調停を求める場合


申立書を提出する裁判所

作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

受付印	夫婦関係等調整調停申立書 事件名 (<u>離婚</u>)
収入印紙 円	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)
予納郵便切手 円	印紙
	(貼った印紙に押印しないでください。)

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	<u>甲野 花子</u>	
--	-----------------------------	--------------	---

添付書類 <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) <input checked="" type="checkbox"/> (年金分割の申立てが含まれている場合) 年金分割のための情報通知書 <input type="checkbox"/>	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 準口頭
--	---

申立人	本籍 (国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	<u>〇〇都道府県 〇〇市〇〇町〇番地</u>
	住所	〒 <u>〇〇〇 - 〇〇〇〇</u>	<u>〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇号</u> (〇 方)
	フリガナ氏名	<u>アノ ハナコ</u>	大正 <u>〇〇</u> 年 〇 月 〇 日生 平成 (<u>〇〇</u> 歳)
相手方	本籍 (国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	<u>〇〇都道府県 〇〇市〇〇町〇番地</u>
	住所	〒 <u>〇〇〇 - 〇〇〇〇</u>	<u>〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇号</u> <u>〇〇アパート〇号室</u> (〇 方)
	フリガナ氏名	<u>アノ タロウ</u>	大正 <u>〇〇</u> 年 〇 月 〇 日生 平成 (<u>〇〇</u> 歳)
未成年の子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 <u>〇〇</u> 年 <u>〇〇</u> 月 <u>〇〇</u> 日生 (<u>〇</u> 歳)
	フリガナ氏名	<u>アノ さくら</u>	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 <u>〇〇</u> 年 <u>〇</u> 月 <u>〇〇</u> 日生 (<u>〇</u> 歳)
	フリガナ氏名	<u>アノ 隼</u>	
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 年 月 日生 (歳)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。未成年の子は、付随申立ての(1)、(2)又は(3)を選択したときのみ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

養育費、財産分与や慰謝料を請求するときは、相手方に支払ってほしい金額を記入してください。金額がはっきりしないときは「相当額」を選択してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号（1又は2、付随申立てについては(1)~(7)）を○で囲んでください。
□の部分は、該当するものにチェックしてください。
☆ 付随申立ての(6)を選択したときは、年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください（その写しも相手方に送付されます。）。

申 立 て の 趣 旨	
円 満 調 整	関 係 解 消
※ 1 申立人と相手方間の婚姻関係を円満に調整する。 2 申立人と相手方間の内縁関係を円満に調整する。	※ ① 申立人と相手方は離婚する。 2 申立人と相手方は内縁関係を解消する。 (付随申立て) ① 未成年の子の親権者を次のように定める。については父。 さくら、華については母。 ② (□申立人/☑相手方)と未成年の子が面会交流する時期、方法などにつき定める。 ③ (□申立人/☑相手方)は、未成年の子の養育費として、1人当たり毎月(☑金 000 円 / □相当額)を支払う。 ④ 相手方は、申立人に財産分与として、(□金 円 / ☑相当額)を支払う。 ⑤ 相手方は、申立人に慰謝料として、(☑金 000 円 / □相当額)を支払う。 ⑥ 申立人と相手方との間の別紙年金分割のための情報通知書(☆)記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を、(☑ 0.5 / □(.....))と定める。 (7)

申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日... 昭和年.....月.....日 平成.....	別居をした日...年.....月.....日 平成
申 立 て の 動 機	
※当てはまる番号を○で囲み、そのうち最も重要と思うものに◎をつけてください。	
1 性格があわない 5 性的不調和 8 精神的に虐待する 11 同居に応じない	② 異性関係 6 浪費する ⑨ 家族をすててかえりみない ⑫ 生活費を渡さない
3 暴力をふるう 7 病 気 10 家族と折合いが悪い 13 そ の 他	4 酒を飲みすぎる

情報通知書に記載されている住所を相手方に知られたくない事情がある場合は、その部分を覆い隠してコピーする方法により写しを作成してください。(原本はそのまま提出してください。)

また、情報通知書が複数ある場合は、申立書に添付する写しの表面右上に「別紙1」、「別紙2」...と番号を付してください。

同居と別居を繰り返しているときは、一番最後の別居の日を記入してください。

夫婦が初めて同居をした日を記入してください。

按分割合(分割割合)を上限で定めることを求めるときは、「□0.5」を選択してください。それ未満の割合を定めることを求めるときは、「□()」を選択し、()に具体的な按分割合を記入してください。